

公益財団法人京都服飾文化研究財団とワコールホールディングスが 「メセナアワード 2026」優秀賞を受賞

受賞活動は「一移ろうファッションを文化財にし、次の美へつなぐー西洋服飾関連資料の収集・保存・研究と企画展の開催」

2026 年 10 月 22 日

株式会社ワコールホールディングス
公益財団法人京都服飾文化研究財団

株式会社ワコールホールディングス(本社：京都市、代表取締役社長執行役員：矢島 昌明 以下、ワコール HD)と公益財団法人京都服飾文化研究財団(以下、KCI)は「メセナアワード 2026」において優秀賞を受賞しました。本受賞は、株式会社ワコールホールディングスおよび株式会社ワコールの支援のもと、KCI が 1978 年の設立以来継続して行ってきた服飾文化の収集・保存・研究活動ならびに展覧会の開催が高く評価されたものです。

「メセナアワード」は、公益社団法人企業メセナ協議会が主催する顕彰事業です。企業による芸術文化の振興と、それを通じた心豊かなよりよい社会づくりに資する活動を顕彰しています。2026 年度は、「This is MECENAT 2025」認定活動 198 件(136 社・団体)から大賞 1 件、優秀賞 5 件が選ばれました。



「LOVE ファッションー私を着がえるとき」展(会場：京都国立近代美術館) 「アール・デコとモード 京都服飾文化研究財団コレクションを中心に」展(会場：三菱一号館美術館) ©京都服飾文化研究財団 福永一夫撮影



「アール・デコとモード 京都服飾文化研究財団コレクションを中心に」展(会場：三菱一号館美術館) ©京都服飾文化研究財団

■公益財団法人京都服飾文化研究財団の活動

KCI は 1978 年、ワコールの出捐により設立されました。18 世紀から現代に至る服飾関連のコレクションを中心に、衣服など約 1 万 3,000 点、関連資料約 2 万点を収蔵しています。衣服は、光や湿度などの環境要因や素材の経年劣化、補修技術の専門性などから、文化財としての保存が難しい資料です。KCI は、こうした課題に向き合いながら、膨大なコレクションを維持しています。

また、収蔵品と研究成果を広く公開するため、国内外の美術館と連携した展覧会や、KCI ギャラリーでの展示を行っています。2024 年から 2025 年にかけては、京都国立近代美術館、熊本市現代美術館、東京オペラシティ アートギャラリーと共同で「LOVE ファッションー私を着がえるとき」展を開催しました。京都服飾文化研究財団のコレクションと現代アート作品を通じて、着る人の情熱や願望である「LOVE」を明らかにし、装うことの面白さや奥深さを再認識する機会を提供しました。

さらに、三菱一号館美術館との共催で「アール・デコとモード 京都服飾文化研究財団(KCI)コレクションを中心に」展を開催。これらの展覧会に関連する講演会なども実施し、研究の深化と成果の普及に取り組みました。

近年は、財団ウェブサイトや SNS を通じて、ギャラリートークや展覧会の設営風景などの動画も発信しており、海外からも多くアクセスされています。こうした活動を通じて、ファッションと人々をつなぎ、服飾文化の多様な向き合い方を問いかけ続けています。

■受賞理由



- 文化財としての保存が難しいとされる衣服を収集・保存し、貴重なコレクションを形成している。
- 国内および海外の美術館とのネットワークを構築し、ファッションの研究を深め、公開活動を行っている。

補修の様子 ©京都服飾文化研究財団

■ワコールによる設立以来の支援

ワコールは、KCI の設立以来、長年にわたり同財団の活動を全面的に支援してきました。ワコールの創業者であり、京都服飾文化研究財団の初代理事長を務めた塚本幸一は、第二次世界大戦の過酷な体験を経て、「女性が美しく幸せに生きる社会の実現」を平和な時代の理想と考え、ワコールを創業しました。戦後の急速な生活の洋風化、とりわけ衣生活の洋装化にいち早く着目し、洋服を着るためのファンデーションの普及・定着を図るとともに、下着にファッションという概念を取り入れ、その社会的認知の向上に努めました。

1970 年代、日本のファッション界は次の段階への飛躍を模索していました。西洋の模倣から脱却し、日本独自のファッションを創造・発信するためには、その源流となる西洋服飾の変遷を体系的に研究することが必要でした。しかし当時、日本では、時代ごとのファッションの動向に注目が集まる一方、西洋服飾の歴史を体系的に研究するための時間や資金は十分に投入されていませんでした。

日本独自のファッションを創造し、世界へ発信していくためには、西洋服飾とその関連文献・資料を体系的に収集・研究し、公開する機関が必要である。こうした考えから、塚本幸一は京都服飾文化研究財団を設立しました。以来、ワコールは、同財団による服飾文化に関する活動を全面的に支え続けています。こうしたワコールの長年にわたる支援が、財団の活動を支える確かな基盤となり、西洋服飾の貴重な文化遺産を次代へと継承し、広く社会に公開するという、財団の使命の実現を可能にしてきました。

<報道関係者向けのお問い合わせ先>

公益財団法人京都服飾文化研究財団 総務課 広報担当：福嶋

メール：info@kci.or.jp

公式 HP：https://www.kci.or.jp/

株式会社ワコールホールディングス コーポレートコミュニケーション部 広報担当

メール：pr-wmg@wacoal.co.jp